

## IV 小・中連携部会

# 第一中学区

### 1 はじめに

9年間を見通した連携強化を図るために、今年度も「一中学区の児童生徒をともに育てるための小・中連携はどうあればよいか」をテーマに取り組んだ。連携研究会については、6部会に分かれて情報交換や協議を行ってきた従来のもち方を見直し、今年度はよりよい人間関係を築くことができる児童生徒を育てるための研修会を行うことにした。

### 2 今年度の取組

月 日	実践内容	月 日	実践内容
6月12日	第1回連携理事会	8月31日	第2回連携理事会
8月31日	小・中連携研究会（上川沿小）	11月1日	6年生の一中体験入学

### 3 活動の実際

(1) 小・中連携研究会（会場：上川沿小学校）

#### ① 授業参観

上川沿小学校の全学級の授業を提示していただき、先生方は授業の進め方、児童の様子などを参観した。

#### ② 研修（弘前医療福祉大学 小玉有子先生の講話）

「自信を持って社会で活躍できる子どもたちに育てる」という演題で、講話をしていただいた。一中学区の子も達を「しっかりとコミュニケーションをとれる子ども」「自他の気持ちを理解し、思いやりのある子ども」に育てたいという願いのもと、演習では、グループごとに情報交換や意見交換を進めた。小・中各校交じったグループのため、発達段階に応じた対応のしかたや支援策の在り方を考えることができ、「ともに育てる」意識を高める機会となった。



【研修におけるグループ協議の様子】

(2) その他の交流や連携

#### ① 鳳雛講座

一中がキャリア教育の一環として開設している「鳳雛講座」に、小学生も参加している。講座は地域で働く方を招いて、講話をしていただくものであるが、これまでに「パリスト・ソムリエ」「バス運転士」「和菓子職人」「保育士・幼稚園教諭」などを招いた講座には小学生も積極的に参加した。

#### ② 6年生の一中体験入学

学区内の4小学校の6年生が中学校を訪問し、授業参観の後、集会に参加した。学校紹介やクイズ、先輩からのアドバイスなどを通して、中学校生活への関心を高めた。

### 4 おわりに

今年度、小・中連携研究会で生徒指導上の課題解決のために専門的なお話を聞き、全員で協議・演習するという研修は、9年間のつながりを考え、実践する上で有意義であった。このほかあいさつ運動や歯磨き指導なども学区の共通実践として行われており、今後も「ともに育てる」意識を共有して連携を深めていきたい。